

平成25年度第2回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成25年11月29日（金）午後2時00分～午後3時45分

場所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数 14名

欠席委員数 12名

事務局 10名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題（1）花見川区地域福祉計画の推進状況について
（2）各委員からの活動状況の報告について
（3）その他
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数26名のうち、12名欠席を確認し開会した。

議題（1）花見川区地域福祉計画の進捗状況について

事務局より地区別の取り組み状況について資料1「取り組み項目地区別一覧表（平成25年11月29日時点）」をもとに、訂正と新たに追加された部分について報告。（花園地区に記載があったものを一部畑地区に転記。）引き続きの情報提供を求めた。

<質 疑> なし

議題（2）各委員からの活動状況の報告について

1 畑地区部会の活動報告（資料2-1） 報告者：清水委員

資料に基づき、畑地区部会の概要（設立・構成・社会資源など）、地区内の自治会等の活動を中心に、民生委員、主任児童委員、福祉活動推進員の働きかけによる事業展開の様子や地域色を活かした活動を説明。コミュニティセンターとの共同開催する子育てサロンについても紹介。

<質 疑>

黒田委員：子育てサロン開催だが、何歳児とか対象はあるのか。バルーンアート講師は。

清水委員：未就園児対象なので、0～3歳くらいである。講師は花見川地区の方である。

安澤委員：グラウンドゴルフも頻度高く行っているので、報告に載せていただきたい。

原田委員長：社協の事業で申請して助成金をもらえばよい

渡邊委員：17ページのシニアゴルフ大会もタイアップしてやっている。

原田委員長：情報として提供して欲しい。

天春副委員長：子育てサロンで行っている内容はどんなものか。

清水委員：お母さん方の中で手遊びや歌遊び、折り紙をできる方がいる。クリスマス飾りなど、季節にちなんだものも用意している。歯科衛生士など専門家のお話を聞く企画も立てている。

原田委員長：ふれあいサロンの内容はどんなものか。

清水委員 : 畑が丘やサニータウンでは毎回企画を立ててお話しや勉強会など、お茶飲みから始まって色々なことをされているようだ。ホームランドはひだまりと題してお話会や健康課から講師を招き研修等を行っている。

原田委員長 : 年5回の会議と内容、構成員

清水会長 : 2か月に1回、2か月の活動の報告や情報交換を行っている。参加者は20人位である。

2 活動事例の報告（資料2-2） 報告者：友利委員

資料に基づき、天戸中学校区地区部会の活動概要・実績について説明。自治会ごとの独自性のある地域の状況と地区内の構成団体の活動について紹介。地域福祉計画の周知と、全体として取り組むことが難しいものを、地区内にボランティアグループを作って計画の中の項目について少しでも推進するための取り組みについて紹介。

<質 疑>

天春委員 : 寺子屋の対象は小学生か、中学生か。

友利委員 : 小学1～3年、4～6年とわけている。

花島委員 : 栗の木まつりのバザー参加については具体的にどういうふうに行っているか。

友利委員 : 障害を持つ人にふれる機会がなかったが、この施設を利用したり集まりに参加したりしながら積極的に関わるようにしている。会合にお呼びして話をきいたりしている。

原田委員長 : 地区部会全体で取り組むのが難しいという話があったが、単位自治会で活動していただければいいのではないか。できるだけ小さい単位で活動してもらえば参加率も上がるし、いいのではないか。自治会で何もかもやるのは大変だが、横に広げて行って欲しい。よくこんなに子どもの面倒を見られますね。

友利委員 : 地域の子どもの安全な成長を願って行っている。高齢者への支援と並行して行っている。見守りと支え合い活動はなかなか進まないの、思案中である。

原田委員長 : 高齢化率は高いのか

友利委員 : 高いところと新しい地区とムラがある。30～40年の古い町は30%を超えている。

中垣委員 : 町会でよく動く人を重要なポストに据えるべきだ。

安澤委員 : 思春期教育については、どなたか講師を呼ぶのか。

友利委員 : 学校授業の一環で、外部講師が来る。疑似体験含め中学3年生全員が対象。

3 千葉市身体障害者連合会組織と活動内容の報告（資料2-3） 報告者：花島委員

資料に基づき、組織の概要と主な活動内容について説明。地域で生活する障害者の中で孤独さを抱えている人へのサポートについて、障害者・高齢者福祉について、具体的な意見を聞きたいという問いかけあり。

<質 疑>

原田委員長 : 会員はどれくらいいるか。

花島委員 : 550人である。他に11団体くらいあるようだ。

高橋委員 : 個人情報の問題で相談員の名簿が市政だよりも載らないとのことだが、相談場所がないということなのか。

花島委員 : 相談場所はある。地域の相談員で対応できなければ障害福祉課を教える。他市からの移住者等には行政窓口を教えている。

- 友利委員 : 国をあげてバリアフリーといって障害者も健常者も楽に移動できるようになってきている状況がある。しかし障害を持つ方が多く社会にでてきた時に、なかなか追いついて行かないのが健常者の考え方である。普段活動していて、高齢者や障害者を障害物扱いしている方がいて、悲しい思いをすることがある。そういう社会になって行っていることを私たち一人ひとりが認識し、余裕を持って行動できるよう個々で心がけることが必要。また障害者に対する対応の仕方がわからないということもある。我々が一日も早く取り組まなければいけないことは対応の仕方を学ぶことだが、広く浅くか、狭く深くがよいのかを悩んでいる。天戸中学校区地区で今年福祉教育の取り組みをする。視覚障害にスポットを当てていきたい。
- 原田委員長 : 孤独な方もおられるようだが、健常者や我々地区部会等に対して何を望まれているのか。
- 花島委員 : 障害を持つ人は劣等感を持つ方が多く、親切に声をかけても大きなお世話という態度をとってしまう人もいる。
- 原田委員長 : 現在行っている地域活動は、どうしても健常者の中の高齢者や子どもへの対応が中心となってしまう。
- 花島委員 : この会議でも初めて障害についてが話題となった。障害者同士の集まりには来る傾向が強い。健常者の方が障害者に対応するのは難しい面もあると思われる。
- 原田委員長 : できるだけ健常者の中に入ってきてもらいたい。それがなかなか難しいのかも知れないが。
- 花島委員 : 震災が起きた時に初めて民生委員が書類を持ってきた。普段はほったらかしになっている気がする。
- 高橋委員 : 一般的にいう健常者の立場としては変に踏み込んでいきづらい。要請があれば行くが、そういうスタンスではいけないのか。
- 花島委員 : 福祉会には謙虚さをもって関わるよう言われている。障害のある方には孤独にならないよう近所の方と常に接触しなさいとは伝えている。町会の方々がもっと積極的に関わっていただいた方がありがたいとは思っているが。
- 齋藤委員 : 既に行っているご近所のたすけあい活動、今年度スタートする見守り活動事業とも、利用者募集の際の呼びかけとしては「高齢者並びに体の不自由な方」としている。しかし障害をもつ方が手を上げてくれた依頼は今まで一件もない。今の報告を聞いていて、やり方がちがうのではないかと感じるころがあった。呼びかけだけでは手を上げないのでは。以前障害をもつ方が町会の代議員になったことがあり、自治会館まで車椅子でくるが、段差で中に入れない。バリアフリーをどう作ろうか考え、リフトやトイレを付けることを検討したが、予算がなくそのままになっている。代議員会には来てくれたが、普段の会合に来ることはなかった。この問題について本気で取り組んだかどうかをつくづく反省した。
- 原田委員長 : 健常者のところに入りやすい環境を作っていただくことが必要だと考える。
- 花島委員 : 障害のことについて初めて話し合っただき、大変参考になった。理事会の時に報告したいと思う。
- 原田委員長 : 結まーるというのは計画ができたときの最初のモデル事業か。
- 友利委員 : その助成が終わり、今は地区部会からの助成と新たな補助事業で活動展開している。この助成も年々助成額が減額されるので、地区部会としてもどのようにサポートしていくか悩んでいる。
- 原田委員長 : 敬老会の補助制度変わったがそれに対して何か問題はなかったか。
- 清水委員長 : もともと自治会ごとに開催していたのでほとんど支障はなかったが、1自治会だけ開催しないと言われたため、地区部会で主催した地区があった。

議題（４）今後の進め方・スケジュールについて

事務局より推進協だよりの発行について、来年の開催日程について説明があった。詳細はその都度連絡する。

<質疑応答>なし

（議事終了）

事務局より、次回は２月の開催であることが伝えられ、原田委員長が閉会挨拶し、午後３時４５分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。